

サイエンスカフェ in 静岡

要事前申込
参加無料

第35シーズン

サイエンスの
最前線を
分かりやすく
お話しします。



第157話

9月
29木

ゲーム人工知能の進歩

電気通信大学大学院情報理工学研究科
保木 邦仁



計算機が人知を超えるゲームの領域は、ヒューリスティック探索と機械学習の進歩が原動力となり拡大し続けています。人工知能はパズルの殆どを人より短時間で解き、チェスだけではなく囲碁・将棋においても人に勝つようになりました。本講演では、日々変化し続けるこれらの人工知能技術の最前線を時系列的に俯瞰します。

第158話

10月
27木

宇宙から見た世界・
日本・静岡の動き

理学部 地球科学科 三井 雄太



宇宙空間を飛ぶ人工衛星は、地球上で生じている「動き」を日々捉えています。「動き」の時空間スケールは実に多様です。地球物理学・情報科学的データ解析によって、「動き」の一部はプレート運動・スロー地震・ファスト地震・マグマ移動に由来することがわかります。その多様性について紹介します。

第159話

11月
24木

「香り」を使って生き残る!
植物の賢い知恵

グリーン科学技術研究所
農学部
応用生命科学科 大西 利幸



植物は様々な香りを発散します。甘い香り、華やかな香り、新緑の香りなど植物は多様な香りを放ちます。人々を魅了する植物の香りは、植物自身が様々なストレスを克服して生き延びるための手段の一つです。香りを使った植物の生き延びる知恵をご紹介します。

第160話

12月
22木

細胞が増えるということ
～染色体(ゲノム)を複数持つ
バクテリアからその普遍性を考える～

理学部 生物科学科 大林 龍胆



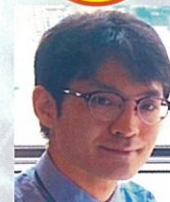
バクテリアからヒトなど多細胞生物に至るまで、細胞が増えるという現象はすべての生物に共通しています。細胞分裂に伴いゲノムを増やすこと、細胞サイズを同じくらいに維持するなど、遺伝子は異なりますが同じような仕組みによって細胞は増殖します。本講演では自身の研究も含め、多くの生命に共通して存在する細胞が増えるためのルールを紹介します。

第161話

1月
19木

「磁石の不思議」から
「微小な磁石の
先端研究」まで

理学部 物理学科 廣部 大地



磁石の不思議な性質は、羅針盤(大航海時代)や発電機(産業革命)、HDD(情報化社会)といった形で歴史の節目を先導してきました。今回は「なぜ磁石になるの?」という疑問に立ち返り、「身の回りのもの全てが、ものすごく小さい磁石をたくさん持つ」ことを紹介します。この微小な磁石を利用した先端研究にも立ち寄りませう。

*イラストはイメージです

場所 / B-nest静岡市産学交流センター

(ペガサート6階プレゼンテーションルーム)

静岡市葵区御幸町3-21 <http://www.b-nest.jp>

Zoomによるオンライン同時配信 も合わせて行います。

(新型コロナウイルス感染状況に応じてオンライン配信のみとする可能性もあることをご了承ください。)

時間 / 18:00~19:30 (開場 17:30)

人数 / B-nest:100名・オンライン:200名

申し込み方法 / 事前申し込み制 (募集人数に達しましたら申込を締め切ります)

サイエンスカフェin静岡公式サイト内の予約フォームから必要事項をご記入のうえお申し込みください。

■ 申し込み開始日 ▶ 各回1ヶ月前

■ 申し込み締切日 ▶ 各回の2日前

主催 / 静岡大学理学部



【お問い合わせ】理学部総務係

TEL:054-238-3080 [平日9:30~15:30]

e-mail: scafeweb@suml.cii.shizuoka.ac.jp

HP: <https://www.sci.shizuoka.ac.jp/science-cafe>

Twitter: @SciCafeShizu34

サイエンスカフェin静岡 検索

